

ポスト 2015 年開発目標 ハイレベルパネル報告書（概要）

平成 25 年 5 月 31 日
外務省地球規模課題総括課

我々のビジョンと我々の責任（報告書抜粋）

我々のビジョンと責任は、持続可能な開発の文脈において、あらゆる形態の極度の貧困を撲滅し、万人が持続的繁栄を享受できる基盤を構築することである。これは、21世紀の普遍的な課題に対処するための、グローバルな、人間中心で、地球にも配慮した目標である。

（注：2013年2月のモンロビア会合後のコミュニケより）

- ミレニアム開発目標（MDGs）の目的を完遂するため、2030年までに極度の貧困を地球上から撲滅することを目指す。ミレニアム宣言の精神及び貧困、教育、保健などの課題に実践的な焦点を当てたMDGsの長所を維持しつつ、持続可能な開発を実現するため、MDGsを超えて対処すべき。
- 新たな開発目標は、人間を中心に据えた、地球にも配慮した、普遍的な枠組みであるべき。また、世界中の全ての人々に希望と同時に責任も与えるものであるべきである。
- 次の5つの変革点（transformative shifts）がポイント。
 - ①誰ひとりとして取り残さない。あらゆる形態の極度の貧困の撲滅を目指す。普遍的な人権を保障し、全ての人々が基本的な経済的機会を享受できるようにすることにより、新たな目標が人間の安全保障を軸に構築され得る。また、全ての人々が適切な責任を有する枠組みとする。
 - ②持続可能な開発を中心に据える。経済・社会・環境の3側面を統合的に対処することによって初めて、不可逆的な貧困撲滅を達成し、2030年には80億人に達する人々の期待に応えることができる。
 - ③雇用創出と包摂的成長のために経済を変革する。極度の貧困を撲滅し、生計を向上するため、経済機会を飛躍させ、経済変革を行うべき。全ての人々が平等な機会を有する多様な経済は、特に若者と女性の雇用等を産むダイナミズムをもたらす。そのために、質の高い教育、保健医療、安全な水、電気、通信、交通手段などへのアクセスを確保すべき。また、都市化の恩恵を活かすべき。

④平和を構築し、実効的、オープンで説明責任を有する制度を構築する。
平和と良い統治は、幸福の中心的要素である。法の支配、財産権、言論・報道の自由などを推進すべき。透明性の確保が重要。

⑤新たなグローバル・パートナーシップの構築。連帯と協力、相互説明責任の新たな精神に向けた転換を図るべき。新たなやり方が必要であり、単なる援助を超えて、国内の体制を整備し腐敗対策等を行うとともに、自由で公正な貿易を推進し、技術革新・移転、気候変動対策、財政・金融の安定化などにも取り組むべき。あらゆる関係者が完全に説明責任を果たすべき。

● 5つの変革のビジョンをいかに行動に移すかが課題であり、パネルとして例示的目標体系案（12の目標と54のターゲット案）を提示。

- 目標 1 : 貧困の撲滅（指標に防災を含む。）
- 目標 2 : 女兒と女性の能力強化とジェンダー平等の実現
- 目標 3 : 質の高い教育と生涯学習の提供
- 目標 4 : 健康な人生の実現（説明でユニバーサル・ヘルス・カバレッジに言及）
- 目標 5 : 食料安全保障と良好な栄養状態の確保
- 目標 6 : 水・衛生への普遍的なアクセスの達成
- 目標 7 : 持続可能なエネルギーの確保
- 目標 8 : 雇用、持続可能な生計及び衡平な成長の創出
- 目標 9 : 天然・自然資源の持続可能な管理
- 目標 10 : 良い統治と実効的な制度・機構の確保
- 目標 11 : 安定的で平和的な社会の構築
- 目標 12 : 開発に資するグローバルな環境整備と長期的資金の動員

● これらの目標は、正確かつ測定可能であるべき。誰一人として取り残されることのないよう、細分化された指標を用いるべき。また、進捗の度合いを図り、欠点を知るため、モニタリングを行うべき。統計の質の向上など、持続可能な開発のためのデータ革命が必要。

（了）